

地域で育てる みんなの足

高齢化が進む中、公共交通はみんなの足として不可欠なもの。形原地区では交通空白地の問題や鉄道の存続問題などを地域の課題として、「子どもや高齢者らが安心して移動すること」ができ、「地域で創り、守り、育てあげる」公共交通体系の構築に向け、住民主体で取り組んでいます。

| 目標 1日20人 | 月別 利用者数 (人) | | |
|-------------|-------------|-----|-----|
| | 小学生 | 大人 | 総数 |
| 4月 | 8 | 360 | 368 |
| 5月 | 0 | 244 | 244 |
| 6月 | 0 | 244 | 244 |
| 7月 | 3 | 205 | 208 |
| 8月 | 2 | 234 | 236 |
| 9月 | 3 | 223 | 226 |
| 10月 | 5 | 256 | 261 |

平成27年4月から形原地域をモデル地区とした支線バス「あじさいくるりんバス」が運行開始し9カ月がたちました。地域を支え、地域の方に支えられて運行をしています。

利用者数
1日平均利用者 約19.2人
1便平均 3.2人



あじさいくるりんバス

利用者の声

車がない人は本当に助かっている。なくては困る。

スーパー銭湯に行くのにも乗っているよ。三河鹿島駅で降りて、裏道を歩くと意外と近いんです。

形原温泉にいけるようになったのはありがたい。路線バスは形原温泉行きがなくなってしまったから。

職場の前にバス停があるので仕事に行くのに利用してます。普段は自転車ですが、出勤日とバス運行日があれば利用しています。

「あおば内科前」はスーパー、ドラッグストア、銀行などが集まっているので買い物に便利です。

くるりんバスとタクシーチケットを行き先や都合によって使い分けてます。行きはバス、帰りの時間が合わなかったらタクシーとか。

交通防犯課 ☎ 66-1156

